

はらむら 議会だより

第102号

平成22年8月10日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



要望が出された議会報告・懇談会…南原

■平成22年■
**6月
定例会**

- 6月定例会…………… 2
- 委員会報告…………… 4
- 一般質問…………… 6
- 組合議会等報告…………… 9
- 議会日誌…………… 10

6月定例会

平成22年第2回定例会は6月8日から17日まで、会期10日間で開催された。

「平成22年度一般会計補正予算(第1号)」など村長提出議案10件と議員提出議案など2件を審議した。委員会での審査の内容は委員長報告のとおりです。

◎国民健康保険税条例の一部改正

(内容) 保険税限度額の引き上げと軽減割合を6割・4割から7割・5割・2割に変更するもの

☆反対討論

・限度額の引き上げは、健康保険ベースまで上げることが決まっている。

軽減世帯が全体の43%を占め、所得格差が原村でも拡大している。将来更に軽減世帯の増加と未徴収金が増えるのではないか。

☆賛成討論

・国保税の減額で、軽減幅が拡大したので賛成する。

◎平成21年度一般会計補正

予算(第11号)

(内容) 八ヶ岳美術館リニューアル工事などの工事費確定による調整。

☆質疑

・八ヶ岳美術館研究員の認定期間は、任命館長退職をもって終了する。(本年6月末)

◎平成22年一般会計補正予算(第1号)

(内容) 米粉消費拡大事業に65万円。八ヶ岳観光圏整備促進協議会(原村・北杜市・富士見町で構成)の負担金として140万円など366万円を追加し歳入歳出それぞれ36億1千366万円とするもの。

◎深山農村公園の指定管理者の指定

(内容) 深山農村公園の指定管理者として、中新田区を指定するもの。

指定の期間は平成22年7月1日から平成27年3月31日。

人権擁護委員に推薦されました

長谷川 豊さん
(農場)

小林 道佳さん
(ペンション)

森山 正人さん
(南原)

任期 法務大臣委嘱の日から3年間

原村教育委員になられました

阿部 泰和さん
(ハツ手)

任期 平成22年

7月23日から平成26年7月22日まで



緊急時にそなえる

平成22年第2回定例会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議 案 名 等	議 員 名										審 議 結 果
		矢島昌彦	菊池敏郎	小平雅彦	小池啓男	日達徳吉	木下貞彦	小林庄三郎	小池利治	長谷川寛	五味武雄	
《村長提出》												
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任と 認め
諮問第2号	同上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任と 認め
諮問第3号	同上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任と 認め
承認第1号	原村税条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	承認
承認第2号	国民健康保険税条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	承認
承認第3号	平成21年度一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第28号	農地法改正に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第29号	平成22年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	深山農村公園の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意第1号	原村教育委員会の委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
《議員提出》												
発委第3号	「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書提出（政府宛）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第2号	地域公共交通活性化・再生総合事業補助金に関する緊急意見書提出（政府宛）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

陳情の審議

◎ 県と市町村が滞納整理をするための共同組織設置に反対する陳情書

陳情者

長野県税金オンブズマン

ン

代表委員 毛利 正道

「反対多数で不採択」

（賛成3・反対6・退席1）

☆賛成討論

・ 共同の別組織は費用がかかる。
・ 滞納者は訴訟以外に対処方法がない。

◎「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情書

陳情者
長野県教職員組合
諏訪支部
代表 伊藤 靖得
「全会一致で採択」
意見書提出

◎ 地方自治体において明確にされた住民意思を尊重し、国家政策に反映することを日本政府に

求める意見書提出に関する陳情書

陳情者

竜援塾

事務局長 中川 賢俊

「継続審査」

（全会一致）

意見書提出

◎「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書

見書

提出者 社会文教常任

委員長 小平 雅彦

宛先 内閣総理大臣他

◎ 地域公共交通活性化・再生総合事業補助金に関する緊急意見書

提出者 木下 貞彦

宛先 内閣総理大臣他



委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 菊池敏郎

6月議会では、村長提出の税金に関する条例、補正予算等と陳情を審議した。また、野生動物被害対策防護ネットと今年度予算で計画された「草原化」予定地を現地調査し、振興公社の運営について調査した。

◎税条例について

地方税法の改定により、3月31日に決定されたものである。

- ・主な改定は、
 - ・「子供手当」創設により「年少扶養控除」等の廃止に関するもの。
 - ・年金所得者の徴収方法に関するもの。
 - ・株式の配当や譲渡における課税方式の変更に伴うもの。
 - ・たばこ税引き上げ等である。
- 今回の改定で、対象扶養者は、1千360人余りで、

控除されなくなるのは3億9千万円余となる。村の税収は1千600万円余り増える。

株式会社配当等の所得には本来20%の課税となっているが、特例で10%となっている。これを本来の税率に戻す代わりに、毎年100万円まで3年間、延べ12年間にわたり非課税とするものである。村の税額は、100万円減額予定。固定資産税関係では、新築住宅やバリアフリーと省エネルギー改修の特例創設などである。

◎国保税条例について

昨年 の 政 権 交 代 に よ り、所得の少ない家庭の保険税を減額する「基盤安定」制度が変わり、所得により世帯割や加入者割

を7割、5割、2割減額することになる。合わせて、限度額を医療分と後期高齢者支援分を合わせて4万円引き上げるものである。

減額対象世帯は、加入者の43%にも及び限度超過は33世帯であり、所得の格差拡大がうかがわれた。

また、本人の意思でない(非自発的)失業者の課税対象額を30%とする特例が設けられる。6月現在7世帯14人が対象となる。

委員からは、軽減額の計算について質問された。

◎平成21年度一般会計補正予算

当初提出の予算書の記載誤りが委員から指摘され、再提出されたものを審査した。

事業費確定により負担金などが変更となったものである。

委員からは、「3月議会6月議会と連続して基本的な事柄での誤りが多

い」と注意する発言があった。

◎平成22年度一般会計補正予算

山梨県北杜市、富士見町及び原村で共同して取り組む「八ヶ岳観光圏促進協議会」負担金などが主である。

委員からは「観光圏整備促進協議会」に向けての原村としての取り組みが不十分ではないか。もっと地域の資源を生かした取り組みが必要であるとの指摘があった。

◎深山農村公園を中新田区に管理させる条例

仕組みを十分説明することの重要性が指摘された。

◎県と市町村が滞納整理をするための共同組織設置に反対する陳情

「市町村の選択に任せられる」と不採択すべきとなった。

◎地域で決めた意思を尊重

した国の政策を求める意見書提出の陳情
もっと研究する必要があると継続審査とすべきとした。

事務調査

◎鳥獣被害対策では、来年度から補助を受けて各地区に依頼して柵を作るとの話から富士見町を見た。電気柵となることから雑草処理が大変との感想が出された。

◎今年度予算化された「草原化」予定地を調査した。約90aだが、鉢巻き道路から2kmも離れているため、もっと近いほうがよいのでは、との意見が出された。

◎振興公社の運営について、担当する農林商工観光課で知らないこともあり「理事者は、きちんと調査し報告するように」と意見を出した。

社会文教常任委員会

委員長 小平 雅彦

議案3件、陳情1件を審査した。議案はすべて全会一致で可決すべきものと、陳情は採択すべきものとして本会議において報告した。

◎平成21年度一般会計補正予算

・御柱街道、菖蒲沢丸山線オーバードレイ工事が国の臨時交付金の対象事業となった。

・太陽光発電等教育施設事業費の国の交付金の変更によるもの。

・奨学金貸付け及び償還金の減額があった。

・八ヶ岳美術館のリニューアル(天井カーテン、床ジュータン取替え工事等)が完了、照明、内装等展示環境が良くなった。工事費は減額となった。

◎平成22年度一般会計補正予算

・義務教育費国庫負担金を2分の1に戻し、国庫負担金から除外した教材費、

旅費、共済費等の復活を要望するもの。
☆義務教育費の充実、制度の堅持から採択すべきとした。

事務調査報告書

◎御山マレットゴルフ場
・クラブ員の尽力によりコースは良く整備され、村外からの申し込みも多い。

◎八ヶ岳美術館

☆収蔵品、寄託品等の台帳整備を早急に実施し今後の管理方針を明確にすべきである。

☆八ヶ岳美術館「研究員」

については、教育委員会、歴史民俗資料館運営協議会とも承知していないとの意見があった。

☆建設当時の展示方針に基づいた、歴史民俗資料と美術品の展示方法について検討する必要がある。

◎図書館

・利用者は増加傾向との説明があった。
☆返却用ブックポストの管理など改善が必要。



バイオトイレ機械室の調査

一般質問 村政を問う

上水道の施設、管路等の 管理対策について

小平 雅彦



積極的、安定的に進めていく

〔質問〕 村民の生活、社会活動に水道事業は不可欠である。施設、管路等の整備状況と漏水対策は。

〔村長〕 上水道はライフラインとして重要で、新水源の探索を新年度予算で実施する。

〔課長〕 施設は、6水源、10配水池、管路約105km。現在大きな漏水はない。老朽化した管路は順次布設替えを行う。

〔質問〕 施設等老朽化、耐震化対策について。

〔課長〕 古いものは、水源47年、配水池38年が経過している。保有水量の確保、耐震化のため、新施設の構築と基準に満たないものは補強が必要になる。

〔質問〕 認知症の方や、介護家族に対する支援策。及

び、地域での支え合いをどのように進めるのか。

〔課長〕 認知症高齢者数は平成18年165名、22年には180名ぐらゐと推測され今後も増加が予想される。

対策として、認知症の方や家族の応援のため認知症サポーター、キャラバンメイト（サポーター養成講師）の育成を広域連合を中心に進めるとともに、家族介護交流事業、介護教室事業等を社協へ委託している。介護施設の整備、緊急宿泊サービス等総合的に進める必要がある。

その他の質問事項

○星、宇宙をテーマとした、地域活性化策は。

○自然文化園のプラネタリウムのデジタル化等改修は。

水路のU字溝補修を

小池 利治



地元と復旧方法を協議する

〔質問〕 図書館のブックポストが長期休みの時にはいっぱいになり、本を返すことができない時があった。対策を考えるべき。

〔課長〕 年末年始、5月の連休の時にそうしたことがあった。周辺の図書館の状況も聞きながら、返却については方法を講ずる。

〔質問〕 ハツ手から上里へ行く道路の北側の水路のいたる所で傷んでいる。これは管理が悪いのか、それとも工事方法に問題があるのか、現場を見て、地区の人達と対策を考えるべきである。

〔課長〕 要望がでて現地の破損状況を調査して検討した。破損箇所が飛び飛びで「農地有効利用支援事業」の対象にならない。破損は8箇所、合計24メートル。資材支給事業で復旧方法を地元と協議していきたい。

〔質問〕 天候不順による農作物の不作が心配になる。各農家は異常気象に対応する為に、様々な資材を購入している。こうした出費に對して補助を考えるべきである。また安値対策費も満額出せるよう考えるべき。

〔村長〕 農技連や農協の営農部等で被害が少なくなるよう、指導を強化する様に対応する。安値対策は満額でない時もある。

入院時食費補助の復活を

菊池 敏郎

財政的に、現状を守るのみ



事情を考慮し、無料化すべきである。条件つけたらいくら位必要か。

「**村長**」現在の制度を守ることが第一、財政的に拡大するのは無理である。

「**課長**」住民税がかからない人対象だと210万円位と推定する。

（質問）老人医療費無料化は、菊池七郎、小林庄吉村長と拡大し、菊池八五郎村長は、入院の食費を無料化に加えた。国、県の圧力があっても守ってきた全国に誇れる制度である。

清水村長は、子供の年齢を拡大した。しかし、入院の食費は、「家でも、病院でも変わらない」と治療食も無視し有料化した。村民負担は、90万円余となった。岩手県沢内村の故深澤晟雄元村長が言うように「お金の心配なく医療にかかれる」ことが行政の仕事である。

（質問）保育所の登園、退

園時間が厳しくなったと聞く。弾力的対応はできないか。

「**村長**」延長保育の保護者から意見もあり、厳格化した。

（質問）私も絵本は好きだが、保育所での絵本配布は、兄弟のこともあり、家庭の事情を考慮すべきである。但し、絵本をもらう子、もらわない子ができるので研究は必要である。

「**課長**」昨年から家庭で読み聞かせなど絵本に親しんでほしいと始めた。保護者アンケートなどで検討する。

AEDの設置状況と今後の予定は

五味 武雄

八ヶ岳美術館には早急に設置したい



（質問）村の公的な機関へのAED設置計画は策定しているか。

「**村長**」役場等9ヶ所に設置済である。八ヶ岳美術館には早急に設置したい。また、許せば図書館・中央公民館にも設置したい。

（質問）地区公民館にAEDを設置する場合、国産メーカー品が本体価格で39万円である。地区にとつてかなりの負担になるので、村で補助して導入を図る考えはないか。

「**村長**」導入補助については、現在考えていない。

（質問）後期高齢者医療暫定保険料の徴収において、特別徴収で年金から天引きされている方で、7月の本算定までの期間納付書により直接納付しなければならぬ事例がある。

本人はいつも天引き処理されており、対応に迷っている間に納付期限（発行日4月15日↓納期限4月30日）が過ぎてしまい、督促状が発行されてしまう。

（その他の質問事項）

- ごみ処理について
- 原爆展について
- 普天間基地移転先問題について

そこで、督促手数料の減免は考えられないか。また、口座引落しでの対処方法はないか。

「**村長**」督促手数料は徴収しない方向で検討している。

「**課長**」納付書発送の際に口座引落し依頼書も同封している。一回だけは役場に向いてもらい、口座振替の手続きをしてもらえばこうした事例も出てこなくなる。

歌「星降る里」の活用は

木下貞彦



地域づくりに役立つ

主催で行った。CD 366枚を制作して児童とマスメディア等に配布した。全国の学校で歌われている。さらに全国に発信していきたい。「**村長**」地域づくりに役立つ。今までシンポジウムも考えた。条件が整えば行ないたい。

〔質問〕認定を受けた八ヶ岳観光圏の事業は。

〔**村長**〕事業費3千187万円が国から40%の補助金を受ける。交通強化事業は今年度は検討のみ、事業は行わない。観光事業発信強化事業、人材育成事業、宿泊滞在化促進事業等7つの事業がある。一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント(会員13団体)に委託する。

〔**課長**〕村からは、協議会に入っている。実施団体と

〔**課長**〕第1回のコンサートは商工会で、2回目は村歌われる。

美術館館長の辞職にかかわる施設の独占的利用の言動がある

小池啓男

特定の作品だけとは認めていない



〔質問〕通称・八ヶ岳美術館(村の正式名称・歴史民俗資料館)前島館長が辞職された。

開館当初は入館者5万人を数えたが、平成13年には7千700人に減少した。14年に館長に就任された前島さんは、様々な企画展に取り組み18年には1万4千人を上回る入館者という実績を残された。前島さんの功績は数字上だけではなく、人と原村の歴史的な遺産、文化、芸術が会える場所として発展させたことにある。辞職せざるを得なかった主な要因として、特定の美術作品のみに重きを置くという一部の方による施設の「独占的な利用」というべき言動があった。

村はこの施設を3億600万円で建設。(1億8千万円は村の財源で、1億1千800万円は借入・利率7.15% 20年間の補助もあった。)

ブロンズ鑄造の費用は村が出している。鑄造する許可の寄付を受けたと言える。

昭和53年の議会で、小林村長は「多嘉示先生の関係

や、津金先生の書き物や、さらに中央道遺跡のものや：建物は一つだけれども内容は複数をということだ」とのべている。

美術館は地方自治法でいう「公の施設」であり、建設の経過から見ても「独占的な利用」は出来ないのではないか。

〔**村長**〕前島館長は原村の文化程度を高めるという大変な功績があった。一部作品の独占的な利用については、経過を推測すると分らない訳ではないが認めてはいない。

〔**教育長**〕前島館長の辞職は本当に残念だ。

学校の児童、生徒、家族も含めて美術館に行く機会を設けていただいた。功績は大きい。

〔その他の質問事項〕

- 文化園レストランの赤字予算計画
- 集合住宅の建設について

して原村振興公社が入っている。PRを行って、講習、講座に出てもらって、効果が出るようにしたい。

一部事務組合議会報告

諏訪広域連合

平成22年第1回定例会は3月25、26日開催した。承認1件、議案9件を全会一致で可決した。一般質問は3名であった。

承認

◎21年度広域消防補正予算
諏訪消防署に関する、事故による車両修繕費用。

21年度補正予算

◎老人ホーム恋月荘
寄付金を基金に積み立てるもの。

◎救護施設八ヶ岳寮

一般財源より基金に積み立てをするもの。

◎介護保険

基金の利子を、積み立てるもの。

◎22年度予算 ◎一般会計

主なものは、リニア中央新幹線建設促進諏訪地区期成同盟会負担金、病院群輪番制病院運営事業補助金、小児夜間急病センター事業費。

◎特別養護老人ホーム恋月荘
スプリンクラー設備設計、東棟中庭改造工事や、給食機、洗濯機購入等である。

◎救護施設八ヶ岳寮

賄材料費、調理業務委託料、設備点検委託料等である。

◎介護保険

特養の待機者は約1千20名である。居住系サービス事業者の公募の結果は、第1次は募集定員に満たなかった。2次公募を実施し、募集定員超過分は、整備計画に上乗せする。原村関係では、小規模特養で29名、有料老人ホーム等75名で、

いずれも平成23年度開設予定。

◎広域消防
中南信消防広域化協議会負担金等である。

平成22年度諏訪広域連合予算

(単位：千円)

会 計 名	予 算 額	原村負担金
一 般 会 計	165,566	7,782
特 別 会 計	養護老人ホーム恋月荘	0
	救護施設八ヶ岳寮	3,677
	介 護 保 険	75,204
	諏 訪 広 域 消 防	122,257
	ふるさと市町村圏基金事業	0



◎ふるさと基金事業
エルシーブイFM広報委託料、御柱祭に関するアンケート委託料等。
(木下 記)

諏訪中央病院組合

3月定例会が3月25日に諏訪中央病院で開催。9議案(平成22年度病院事業会計予算案他)の提出があり、全議案を全会一致で可決した。

病院業務の予定は、年間利用患者数を入院・入所が1日平均患者数317人、クリニックを含む外来が1日平均患者数79人、収益的収入及び支出の予定額は73億1千187万5千円とする。

平成21年度の利用患者数は入院で182人増、外来は211人増(前年同期比)であると説明された。

看護専門学校卒業生43名全員が看護師国家試験に合格した。(諏訪中央病院には18名が就職)平成22年度入学者数は52名である。

(小林 記)

議会日誌

27日	26日	21日	12日	5月	24日	22日	21日	19日	15日	14日	13日	7日	6日	1日	4月
シルバー人材センタ 総会	茅野防犯協会連合会 総会	原村商工会通常総会	環境保全審議会	御柱祭観光宣伝事業 報告会	原村商工会お花見 部総会	日本禁煙友愛会原支 部総会	社会文教常任委員会 視察	茅野防犯協会連合会 監査	議会報告・懇談会	「議会だより」編集 委員会	議会報告・懇談会	こひつじ幼稚園入園 式	原小学校入学式	原小学校入学式 グセレモニー	原村保育所入園式
				30日			25日	20日	16日	12日	10日	3日	2日	29日	28日
				原村下水道審議会			「議会だより」編集 委員会	消防団ポンプ操法大 会	全員協議会	諏訪広域防災講演会	防犯組合定期総会	議会運営委員会	茅野交通安全協会原 支部総会	立沢区・広河原4区 ・原村との境界確認	原村保健衛生自治推 進協議会総会
															1 通常総会 諏訪湖流域下水道促 進協議会定例会



7月1日集中豪雨による被害

編集後記

議会に出席しないなど、問題になっていった鹿児島県阿久根市の市長が、議員報酬の日当制や職員らのボーナス半減などを議会に諮ることなく専決処分した。地方自治法は緊急を要する場合に首長の専決処分を認めている。

鹿児島県議会は市長の行為が「二元代表制を崩壊させる」として抗議の決議を全会一致で可決した。

首長と議会、この二元代表制がどのように機能していくのか。名古屋市なども含め、今、問われている。

(小池啓男 記)

編集委員会

- 委員長 五味 武雄
- 副委員長 長谷川 寛
- 委員 小池 利治
- 同 木下 貞彦
- 同 菊池 敏郎
- 同 小池 啓男